

大阪市立



鷗野小学校

郵便番号 536-0014
所在地 城東区鷗野西4丁目11-48
電話番号 (06)6961-4313
FAX (06)6961-4569
校長名 崎本 靖朋



- 【概要】 創立93周年となり、新しい歴史を紡ぐとともに、地域の熱い愛情に支えられた緑豊かな学校です。学校は地域の中央に位置しており、隣の鷗野グラウンドとともに、地域のコミュニティーセンターとしての役割も果たしています。
- 【教育目標等】 校訓「こころのふるさと のびゆく鷗野」
教育目標「自分を大切に 他の人も大切に」
- 【主な沿革】 昭和8年鷗野尋常小学校として開校。昭和55年現在の校舎に移転。

運営に関する計画《中期目標》

【安全・安心な教育の推進】

- ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校であった児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
- ・ 学校アンケートにおける「すすんで勉強していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- ・ 学校アンケートにおける「栄養バランスを考えながら給食を食べている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上に維持する。
- ・ 学校アンケートの「早ね・早起きをしようとしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上に維持する。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、「週3回以上」と回答する児童の割合を60%以上にする。
- ・ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。
- ・ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【令和7年度調査結果の概要】

国語、算数、理科の調査対象教科において、全国および、大阪市平均を上回っている。

	国語	算数	理科
本 校	68%	60%	59%
大阪市	65%	58%	55%
全 国	66.8%	58%	57.1%

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

学力向上に向けて、日常的な指導と共に、体験的な活動や交流活動を取り入れることで成果を上げてきた。今後も学びの充実感が味わえるように取り組みを進めていく。また、中学年と高学年において、理科等で専科制の指導を行い、学年の実態に応じて一部教科担任制も行っている。さらに、近年はICT機器も活用した、きめ細かな指導を行っている。こうした結果、「わからない」「できない」という児童は減少した。今後も、教職員研修の充実等により、指導力を向上させて指導の工夫や「わかる」と実感できる授業を目指す。

本年度は校内での教職員による研究教科を算数科に設定し、1年間を通して「児童主体の授業展開」をテーマに研究や研修を深め、算数科の基礎基本の定着を図る取り組みを行う。また、「交流活動の充実」や「効果的なICT活用の取り組み」についても研究し、児童が自信を持って学習できるように粘り強く指導・支援していく。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

【令和7年度調査結果の概要】

種目別平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.39	19.68	31.44	37.08	40.63	9.61	150.90	18.86	49.91
女子	14.20	19.33	37.25	34.50	32.95	10.04	141.28	11.95	51.00

体力合計点の平均は、男女ともに全国・大阪市の平均よりも低くなっている。一方で、種目別に見ると、「上体起こし」において大阪市・全国平均を上回り、基礎的な筋持久力が育ってきているといえる。また、「立ち幅とび」においては、大阪市平均を上回る結果となり、脚の瞬発力が高まっている傾向が見受けられる。これは大縄など本校が縄跳びの運動に力を入れて取り組んでいる成果であるといえる。「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問項目への肯定的な回答は、89%（男子90.6%、女子86.9%）と非常に高く、前向きな姿勢が体力向上の土台になっているといえる。1週間の総運動時間

が60分未満の児童の割合は男子が17.4%、女子が4.9%（全体約11.3%）で、特に女子は低運動層が少ないことが特徴的である。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

これまで継続的に実施してきた「体力テストに向けた取り組み」や「運動会」、「かけあし週間・かけあし大会」、「大なわ大会」といった体育的行事を通して、児童の運動への関心を高められた。特に「かけあし大会」や「大なわ大会」の時期には、休み時間に運動場へ出て自主的に練習をする児童の姿が見られた。また、体育の授業で他学年と交流する機会を設けたり、運動委員会で運動のコツを伝える取り組みを行ったりするなど、運動への関心を高める取り組みを行った。実際に、男子のアンケート結果を見ると、「体育の授業は楽しいですか。」という項目に肯定的に回答した児童の割合は、全国・大阪市の平均を上回っている。一方で女子の質問項目を見ると、肯定的に回答した児童の割合は、全国・大阪市の平均を下回っている。

今後、楽しいと感じられる体育の授業を行うことで、運動やスポーツへの関心を高め、児童の体力を伸ばしていきたい。そのために、教員同士で体育の授業についての情報を共有し、授業を改善していく必要がある。

【主体的に学ぶ子(知)】

鳴野小学校では、令和6年度から算数科の研究に取り組んでいます。令和7年度の全国学力学習状況調査において全国平均を上回る結果が得られたように着実に成果が表れています。今年度もこれまでの研究を生かして算数科を研究科目とし、授業の様々な場面において積極的に「交流活動」を取り入れながら学び合い、高め合いながら、基礎・基本の定着を図っていきます。その他の教科の学習にも、「交流活動」を多く取り入れ、児童の主体性を高めながら、学習活動を行っていきます。

3学期には隔年で学習発表会や作品展を実施し、学習したことを表現し発表する機会を設けています。今年度は2月に学習発表会を予定しております。



【みんなで仲良く助け合う子(徳)】

鳴野小学校の児童会活動は、全校児童を45班の「ファミリー」と呼ばれるたてわり班に分けて、他学年と交流をしています。毎週木曜日の児童集会で一緒にゲームを楽しんだり、春は「校内オリエンタリング」で校内を探検したり、秋の「ハッピーフェスティバル」で各学級が工夫を凝らした「お店」を回ったりと、他学年との絆を深めています。

入学を祝う会や卒業を祝う会などの児童会行事を、各委員会の代表を中心とした「嶋会（代表委員会）」のメンバーが企画、準備、進行しています。

また、「ピア・サポート」を取り入れた学級や学年、異学年集団の育成に取り組んでいます。



【健やかな体をつくろうとする子(体)】

全校行事として、「なわとび週間」や「かけ足週間」を行っています。「なわとび週間」では、新しい技に挑戦したり、記録をのばしたりして、意欲的に取り組んでいます。「かけ足週間」では、決められた時間の中を最後まで走り続けることを目標として、全校児童でかけ足をする時間を設けています。1月には「かけ足大会」も開かれる予定です。

その他にも学年ごとにドッジボール大会などを行い、年間を通じて楽しみながら、運動に親しむ活動を行っています。



【地域との活動】

登下校の際には、保護者や地域の方々による「見守り隊」が児童の安全を見守ってくれています。

地域の取り組みで、毎週水曜日と土曜日に「鼓笛隊」の練習があり、児童がトランペットや太鼓、鍵盤ハーモニカなどの楽器の練習をしています。練習した成果を「城東区民祭り」、「敬老会」その他様々な行事で発揮します。

地域で催される盆踊りや町民大運動会も子どもたちが楽しみにしている行事です。また、3年生では地域の方から昔の鳴野の様子について話を聞き、学ぶ機会もあります。

学校案内図

(18ページもあわせてご覧ください)

鳴野小学校

